

1 学校経営管理全体計画(構想)

学校教育目標

ふるさとを愛し、心豊かにたくましく生きる玉緒っ子

子どもの姿

- 児童会など自主的な活動に、意欲を持って、前向きに取り組める。
- 話を聞く力やコミュニケーション力が十分でない。
- 基礎学力の定着が十分でない子どもの割合が高い。
- 様々な課題を持った子どもが多い。

保護者の願い

- ①基礎的・基本的な学力を身につけてほしい。
- ②相手を思いやり、仲間と協調して適切な人間関係を結べる子に育ててほしい。
- ③適切な生活習慣を身に付け、健康でたくましい子どもに育ててほしい。

《学校経営目標》 児童に「生きる力」を育む学校

- ①すべての児童に「確かな学力」の育成を図り、学力を保障する。
- ②自分も相手も大事にする、人間関係力の育成を図る。
- ③家庭と連携を図り、心身ともに健康でたくましい児童の育成を図る。

東近江市人づくりプラン

三方よしが行える子

- 自分よし (自己実現)
- 相手よし (思いやり)
- 社会よし (社会貢献)

めざす子どもの姿

- ◎目標に向かって進んで取り組む子
- ◎自ら考え、行動できる子
- ◎正しい判断力と規範意識のある子
- ◎進んで人とかかわることができる子

た くましい心と体

体力づくり	すこやかタイム
	・外遊び、マラソン、なわとびの奨励・集団遊び(学級・たてわり) ・アジリティトレーニング
健康づくり	教科体育・体育的行事の指導
	・運動量のある体育学習
	・集団行動の指導・水泳、陸上、器械運動の指導の充実 ・運動会、マラソン大会、スキー教室等体育的行事の充実
安全づくり	体と心の健康を守る
	・いのちの学習
	・食育、給食指導、保健指導の連携した取組
	・虫歯予防指導、喫煙や薬物乱用防止教室の開催 ・基本的な生活習慣
安全づくり	自他の安全を守る
	・登下校の安全指導(黄帽・安全旗)
	・校内の安全についての意識付け
	・定期的な交通安全教育
	・避難訓練、不審者対応訓練・情報モラルの指導

ま なびもとめる力

学びの基礎	基礎・基本的な内容の確実な定着
	・学びの土台となる読書力向上の取組
	・漢字、計算力の確実な定着
	・個別指導の時間の確保・家庭学習の定着
授業づくり	学習環境の整備
	・学びやすい教室環境づくり(整理・整とん、)
	・「チャームでスタート」等、学習規律や授業スタイルづくり
やる気づくり	「自ら学ぶ力」を育てる授業の追求
	・読む、書くを大切に授業づくり
	・聞く、話す、伝え合う力を育てる授業づくり
	・学びに困り感をもつ児童の視点に立つ指導の工夫 ・ICTを活用した授業の工夫改善
やる気づくり	自分たちの暮らしを創る
	・児童会活動の充実(ショート集会、玉小まつり、6年生ありがとう会等)
	・児童の主体性を育む学級活動の推進
	・美しい環境をつくる清掃指導の取組
	・「玉小の約束」の指導

お もいやりの心

温かな心づくり	みんなにやさしい特別支援教育の推進
	・障がいのある子の理解教育の推進
	・交流学習、交換授業の充実
	ふれあい交流活動の推進
豊かな心づくり	・人権教育の推進 福祉体験活動の充実
	・お年寄りや幼稚園児、障がいのある人との交流活動
	・外国人児童理解教育の推進
豊かな心づくり	道徳教育の推進
	・教育活動全体を通じての道徳教育の推進と指導の充実
	心を豊かにする読書指導の充実
	・学校図書館を核とする読書活動の全校的推進 ・全教師、読書ボランティアによる読み語り 飼育・栽培活動の充実
つながる力	より良く人と関わる力の育成
	・あいさつ運動の推進(児童会や有志による「あいさつ広げ隊」)
	・いじめを許さない学校・学級(集団)づくり PA、SGEの推進 ・たてわり活動の推進

家庭との連携

- ・学校だより、学級・学年通信
- ・学習参観
- ・PTA活動
- ・教育相談

- ☆正しい生活習慣づくり
- ・早寝、早起き、朝ご飯
- ☆家庭での学習習慣づくり

たまお「学びに向かう力を育む」プロジェクト

☆まなびづくり部会

- ・学ぶ力の向上をめざす授業づくり
- ・言語活動の充実ペア、グループ学び合いの活性化
- ・学習習慣・家庭学習の定着

☆くらしづくり部会

- ・PA、SGEによる人関係の育成
- ・学級集団づくり、学級をつなぐたてわり活動
- ・ノーテレビ、ノースマホ、ノーゲームデーの推進

地域との連携

- ・幼小中連携推進事業の実施
- ・地域への情報発信(ホームページ、学校だより)
- ・地域人材の活用、地域学習(学校支援地域本部事業)
- ・学校関係者評価委員会(学校評議員会)
- ・スクールガード活動の推進(各地区への協力依頼)
- ・綿製児童委員との連携

めざす教師の姿 : 合い言葉は「チーム玉緒！」

- ①子どもの心に寄り添い、子どもとともに歩む教師
- ②教室を開き、同僚間の学び合いを通して自らの今日視力を高める教師
- ③組織で動き、組織で働く教師(報告、連絡、相談、お互いを律することができる関係づく)